

「会員短信 18」

「カキクケコをラリルレロで」 工藤泰子

松山市は俳句のメッカ！ 松山の大街道は「俳句甲子園」の聖地で、阪神甲子園球場は野球の聖地です。その甲子園から十二年前に岡山にUターンして、田舎暮らしになりました。最初のうちは庭や家の維持だけで精一杯。土竜のように引き籠っていましたが、俳句の渦に次々と巻き込まれ、岡山県俳人協会のお手伝いなど、いつの間にか俳句漬けの生活になりました。

滑稽俳句は、当時選者をされていた「八千草」の山元志津香先生に誘われて、創立当時から参加しています。昨年、滑稽俳句協会報年間賞の「地」賞を頂いたことがきっかけで、滑稽俳句の笑いのポイント『カキクケコ』を二種類考えました。一つは「簡単・綺麗・苦心・計算・滑稽」で、もう一つは「諧謔・機知・工夫・慧眼・滑稽」です。「慧眼」を辞書で引きましたら、「物事の本質や裏面を見抜く鋭い洞察力」とありましたので、迷わず後者を受賞の御礼で披露させていただきました。

八木会長の言葉に、「俳句は言葉のスナップ写真」というのがあります。私は、草（雑念）引きをしながら、ぶつぶつ（念佛）を唱えながら、カチャッと俳句の記録のシャッターを切っています。ピンボケもへっちゃらです。

私がネット句会の管理人をしている「木偶の会」、個人ブログの「空海が行く」も八年になりました。これからも世界に俳句や文章を『ラリルレロ（楽・利・留・令・論）』で発信し続けたいです。